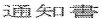
整理番号:

発送番号:112498 発送日:平成21年 8月18日

1/E



issued on August 18

平成21年 8月13日 特 許 庁 長 官

特許提出者代理人 安富 康男 様

特願2005-515160

上記出願に対し、平成21年 7月10日付けで、刊行物等提出書による情報 の提供がされましたのでお知らせします。

Appn. No. JP 2005 - 545460

提供された情報は、当該出願の「ファイル記録事項の閲覧請求」又は「ファイ ル記録事項記載書類の交付請求」をすることにより、その内容を知ることができ ます。

(注) オンラインによる閲覧可能な最大電文長はパソコン出願ソフト3の場合 2MBです。刊行物提出書はイメージデータでファイルに記録されるため 2MB を超えている場合がありますので、バソコン出願ソフト3をご利用の方はご留意 ください。

(閲覧に関するお問い合わせは、特許行政サービス室閲覧担当(内線:275 6) へお願いします。)

この通知に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。

KN 8 (40 VS (4) (2)

[特許]2005-515160

[受付日]平成21.07.13

[書類名]

刊行物等提出書

平成21年 7月 9日 2 10人

【提出日】 [あて先]

特許庁長官 殿

[事件の表示]

[出願番号]

[提出する刊行物等]

特願2005-515160

【提出者】

【住所又は居所】

省略省略

【氏名又は名称】

(1) 特開昭56-109590号公報(以下、刊行物1という

【提出の理由】

* * *

【事件の表示】

【発明の名称】

還元型補酵素Q含有組成物

国際出版部

20901290245

[添付書類]

【物件名】

提出の理由

【審領名】

刊行物等提出卷

[提出日]

平成21年7月9日 平成21年 7月10日 差別

【あて先】

特許庁長官 殿

【事件の表示】

[出願番号]

特願2005-515160

any militarity and the second of the second [発明の名称]

還元型補酵素Q含有組成物

[提出者]

【住所又は無所】 省略

[氏名又は名称] 養職 汞

[提出する刊行物等]

(1) 特開昭56-109590号公報(以下、刊行物1という)

[提出の理由]

以下、本類発明と各刊行物に記載された発明と多分けして説明する

※ T、 本級発明と在THT物に記載されて記明とを対比して説明する。		
競求	本顯発明	刊行物1の記載
項		
1	① シクロデキストリン、	【請求項1、第2頁左上綴5~10行。同頁右上
}	② 極性容異及び	概9~左下榻4行)
	③ 還元型補酵素Qを含有組成物	① β又はァーシクロデキストリン 1モル
	であって、	② 水 (シクロデキストリン水溶液とする)
	● 該補酵素Qが該組成物中に可	③ 補酵素Q10 1モル
	溶化されている(solubil	④ 補酵菜Q10と8又はァーシクロデキスト
	ized) 組成物。	リンとを反応せしめて得られる包接化合物が水
		に可容性となる、ことが記載されている。
23	シクロデキストリン、極性溶媒、	〔第3頁 左上欄下から2行~右上欄3行〕
	および還元型補酵素Qを、混合す	実施例1~4による包接化(シクロデキストリ
	ることを特徴とする、還元型結静	ン溶液に補酵業Q10を溶解・違線)により、
	業Qの酸化を防止する方法。	補酵素Q10は光及び空気中の酸素に対して安
	***************************************	定となることが記載されている。

(本願請求項1及び23について)

本願請求項1にかかる発明について、上記に記載の通り、①~④の構成が刊行物1に記 載されている。または、刊行物1の記載から容易に想到しうる発明である。

また、本額請求項23にかかる発明について、刊行物1には、シクロデキストリン溶解 溶液に補酵素Q10を溶解・選練することによる包接化により、光及び空気中の酸素に対して 安定となることが記載されており、刊行物1に記載された発明である。または、刊行物1の 記載から容易に想到しうる発明である。

結論

上記のように、本願辦求項1及び23にかかる発明は刊行物1に記載された発明と同一の発明であるか、または刊行物1に記載された発明から当業者が容易に発明できたものであるから、特許法第29条第1項第3号、または同条第2項の規定により特許を受けることができないものである。

以上